

産業労働

活気とにぎわいのあるまちづくり



継続 拡充 古河市賑わい創出プロジェクト(観光イベントの拡充と拠点施設の充実) ▶7,293万円

地域の強みを生かしさらなるにぎわいを創出するため、既存観光イベントの拡充や観光拠点の充実を図ります。桃まつり(令和7年3月)のサイドイベントの開催や、道の駅まくらがの里こがにおいて新商品の開発・販売を行います。

拡充 花火大会の開催 ▶3,000万円

観光客の市内回遊や交流人口の増加を目的に、5年ぶりに夏の風物詩である花火大会を開催します。安全に開催するため関係機関と調整を進め、地域活性化を図ります。



生活環境

安全で快適なまちづくり



新規 空き家を活用したモデル住宅の整備 ▶3,033万円

空き家を活用した住宅政策推進のため、市外の若者世帯を対象にリフォームした空き家のサブリース(転貸)賃貸をモデルケースとして実施します。空き家の利活用や若者世帯に対する移住定住の効果を検証し、新たな住宅政策の展開を目指します。



拡充 防災行政無線システムの機能強化 ▶7,970万円

耐用年数経過のため、防災行政無線のシステム更新を実施します。更新に伴い、放送と同時に防災防犯メールやSNSなどで無線内容の一斉配信を可能にすることで、災害時等における情報伝達力を強化します。

都市基盤

魅力的で利便性の高いまちづくり



拡充 古河市賑わい創出プロジェクト(公園施設の整備) ▶9,833万円

市内の観光拠点として位置付けている古河公方公園、サンワ設計ネーブルパークをより魅力的な空間にするために公園施設の整備に取り組みます。古河公方公園は昨年度に整備したカキツバタ園の拡張と園路整備を行い、サンワ設計ネーブルパークはキャビンエリアの改修とサウナを新設し、来園者の増加を図ります。



行財政

まちづくりを支える行政経営



新規 官民連携による窓口運営 ▶2億5,542万円

業務の最適化と質の高いサービスが受けられる窓口を実現するため、今年度から市民総合窓口業務の民間委託化を行い官民連携による窓口運営を開始します。事業者が有するスキルやノウハウを最大限に活用することで、効果的かつ効率的な市民サービスを実施するとともに市民満足度の向上を図ります。



市民協働

地域 みんなでまちづくり



新規 第3次男女共同参画プランの策定 ▶285万円

一人一人が自分らしく輝き、心豊かに生活できる男女共同参画社会の実現を目指します。今年度は、市民・事業所意識調査やこれまでの計画の評価を踏まえて第3次男女共同参画プランを策定します。



健康福祉

互いに支え合うまちづくり



新規 帯状疱疹ワクチン任意接種費用の助成 ▶3,612万円

重症化すると後遺症が残る危険性がある帯状疱疹ほうじょうしんについて、発症率が高くなる50歳以上の市民を対象にワクチン接種にかかる費用の一部を助成します。



新規 保険適用外不妊治療への支援 ▶300万円

先進医療など保険適用外治療費の自己負担額が高額になる場合があることから、不妊治療に取り組む夫婦を支援するため、保険適用外の治療費に対して市独自の助成を行います。

新規 合理的配慮の提供支援に係る助成 ▶45万円

障がい者の社会的障壁を解消する取り組みとして、事業者などがコミュニケーションツール作成等の合理的な配慮に必要な費用を助成します。この取り組みにより、障がい者の社会参加を促進するとともに「障がいのある人もない人も、ともに心豊かに安心して暮らせるまち」の実現を目指します。

教育文化

人が育ち文化の息づくまちづくり



新規 小中学校等避難所施設への空調機設置 ▶5,155万円

指定避難所である小学校15校と中学校6校の体育館に空調設備を設置するため、実施設計を行います。また三和図書館の空調設備とトイレ改修の実施設計を行い、避難所としての機能強化を図ります。

継続 古河第一中学校の長寿命化 ▶5億306万円

古河第一中学校の校舎と体育館の長寿命化対策に引き続き取り組みます。今年度は体育館の改良工事を実施し、生徒が安全で安心して学べる教育環境を整備します。



継続 (仮称)古河市新公会堂整備に向けた検討 ▶3,675万円

(仮称)古河市新公会堂の整備内容を具体的に示すため、昨年度に作成した基本調査報告書を基に、市民が求めている役割や機能を整理し、市民委員会で議論を行い基本構想・基本計画に反映していきます。